

講演会&サイエンスカフェ

2011年10月6日(木)

入場無料・事前申込み不要

場所：箱崎キャンパス五十周年記念講堂 2階ファカルティ

旧芸工大の卒業生であり、世界的に著名なCGアーティスト河口洋一郎の全映像作品を集結した企画展のオープニングトークです。

講演会

13時—14時30分

『進化するロボティック生命体』

河口洋一郎（東京大学教授）

サイエンスカフェ

18時—19時30分

『未来の宇宙生命体へ』

河口洋一郎（東京大学教授）× 竹田仰（総合研究博物館館長）

河口洋一郎 / カワグチ・ヨウイチロウ
CGアーティスト/東京大学大学院情報学環 教授
1952年鹿児島県種子島生まれ。1976年九州芸術工科大学画像設計学科卒業（現、九州大学）1978年東京教育大学大学院修了（現、筑波大学大学院）。1992年より筑波大学芸術学系助教、1998年より東京大学大学院工学系研究科・人工物工学センター教授、2000年より現職。



Cracco/ 宙蟹 (C)Yoichiro Kawaguchi



Shelly/ 宙貝 (C)Yoichiro Kawaguchi

『進化するロボティック生命体』

未来の芸術生命体の進化を考えてみる。彼らとは言葉ではなく、情動的な体の動きでコミュニケーションをとるのが良い。生物の挙動は、遊泳、歩行、飛翔など多様に富み、魅力的だ。自然の進化のサバイバルの中での生物の内包する喜怒哀楽の表現を芸術生命体の創造として試みることは奥深い。僕はこれらのロボティックな立体造形を、時間と空間を乗り越え、遥かなる深海や宇宙へ仲間として連れて行きたい。惑星や銀河、ダークマターも含めて、一緒にサバイバルをしていくのを想像する日々である。

『未来の宇宙生命体へ』

未知の惑星に行きたいと思う衝動は、幼い頃からずっと続いていた。太古から地球上に現存したいいろいろな生物からインスパイアされた未来の進化生命体を仲間にして、宇宙探検してみたかった。地球外の新しい芸術惑星の創造は、地球の過去の生命体の進化の流れの根源を学ぶことから始まっている。はるかなる深宇宙にまで時空間を超えて想像をめぐらし、5億数千万年の過去の生物から、5億数千万年の未来の生物を予測すること。そこから50億年後を予測してみたい。

九州大学創立百周年記念 九州大学総合研究博物館特別企画

河口洋一郎CG映像作品展
— MORPHOGENESIS —

10/6(水)~11/4(金) 12:00-18:00
箱崎キャンパス五十周年記念講堂 2階ファカルティ



(C) Yoichiro Kawaguchi



主催：九州大学総合研究博物館
共催：東京大学大学院情報学環河口研究室
協力：NECディスプレイソリューションズ(株)
九州大学サイエンスカフェ Qcafe2011

九州大学 100th Anniversary
知の新世界を拓く